

管理所レビュー VOL.04

(H30.5.28 水源林管理所)

5月19日(土)の第4回のボランティア活動日は、鮮やかな新緑の中を爽やかな風が吹く、絶好の天候に恵まれ、予定どおりに間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

間伐作業の中で、最も危険な作業が「かかり木」の処理です。「かかり木」となった場合は、十分に注意し、安全第一を心掛けた作業をお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 53名のご参加、ありがとうございます。



爽やかな、間伐日和。



十分なストレッチを！



可憐な花の「エビネ」(2班内)

2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



「始まりの会」をしっかりと。



上空の様子も必ず確認。



切込み具合をみんなで確認。



伐倒時の根元の移動に要注意！



玉切り材の移動には補助ロープ。



浮いた材の玉切りには補助者。



滑り落ち防止ロープは谷側セットが基本です。基本に忠実に！



傾斜地では足元や上下作業に注意！



張出した松の枯れ枝に注意！

3 「かかり木の処理」について。

かかり木の処理は、林内作業の中で最も危険な作業の一つです。

かかり木は、予想外の時・予想外の方向に倒れる場合が最も危険です。まずは、危険のない場所から、掛かり具合などをよく観察して、安全で適切な処理を選択してください。

◆安全な処理方法（例）

①木回しを使用する。

- ・ツルを切りきっておく。
- ・細めの丸太を用意し、回す方向に注意してセッティングする。

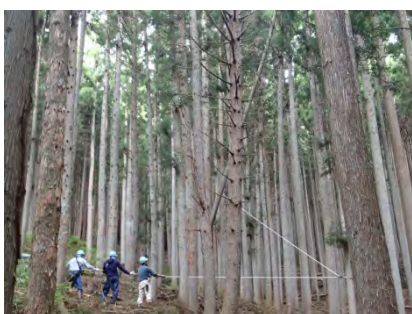
②ロープを滑車から外し、横方向から引く。

- ・滑車からロープを外す時など、かかり木の下に入る場合は、細心の注意を払う。
- ・ロープは安全な位置で引く。

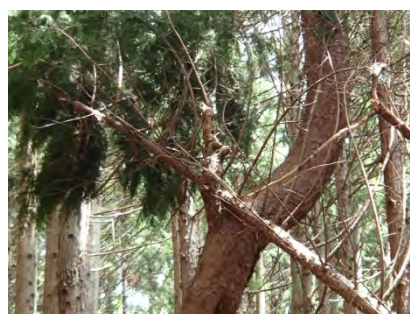
③伐倒木の根元を移動させる。（中径木まで）

- ・根元にしっかりとロープを巻き、安全な位置でロープを引く。

※ かかっている木の伐倒や浴せ倒しなどは、大変危険です。絶対に行わないでください！



大径木のスギがかかり木に。 ②の方法で安全に処理しました。



ヒノキの中径木、③の方法で。

4 「道作り班」の編成をお願いします。

次回の第5回の活動では、作業地内の移動効率のアップと安全対策として、4班～9班内での「道作り」を実施する予定です。

5名体制の「道作り班」を一班編成したいと思いますので、参加者の募集をお願いします。



前回の「道作り」で新設した階段。

5 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、横浜商業高等学校（Y校）の生徒さんが2名参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、若い世代の方々にも広がることを期待します。

ご参加、ありがとうございました。



横浜商業高等学校の生徒さん。
(掲載許可済み)

※ 5月30日（水）は、曇りのち雨、最高気温19度、降水確率50%の予報となっています。

※ 出発前には、最新の天気予報をご確認ください。

★それでは5月30日、気をつけてお越しください。